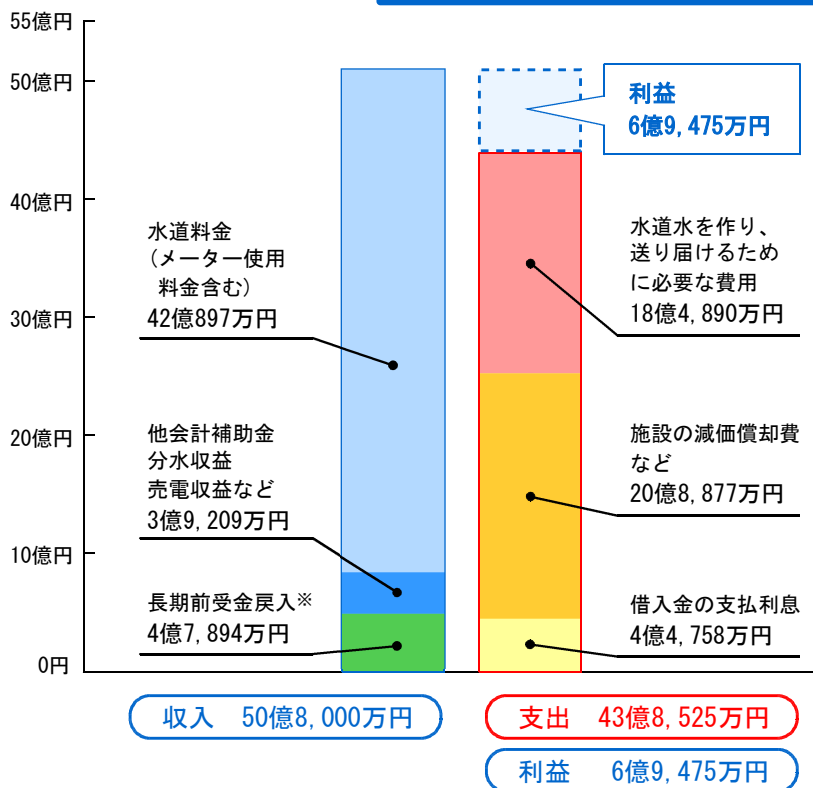


# 平成30年度徳島市水道事業会計決算のあらまし

水道事業会計は、「収益的収支」と「資本的収支」に区分されており、平成30年度の決算は次のとおりとなりました。

## 収益的収支（税抜）



**収益的収支**とは、水道水を作り、各家庭へ送り届けるために必要な経費とその財源です。

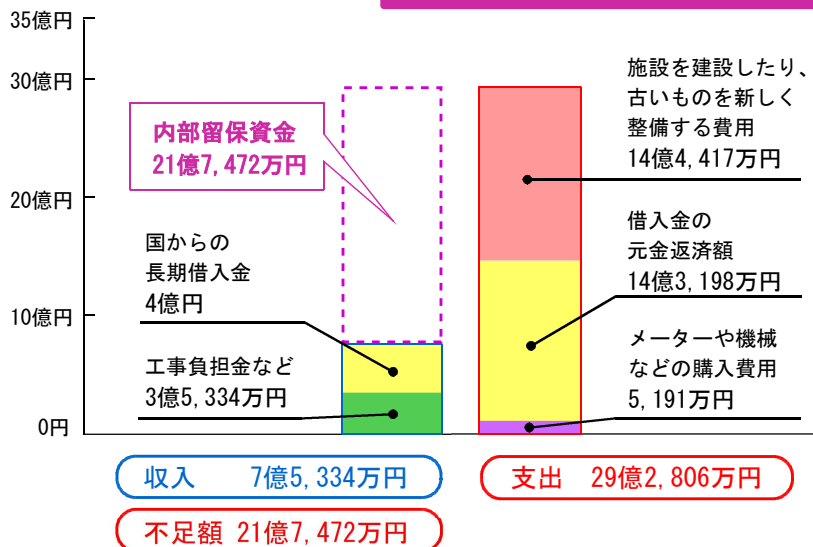
経費とは、人件費、物件費、減価償却費、支払利息などです。

財源は、みなさまからお支払いいただいている水道料金、他会計からの補助金、分水収益などの収入です。

経営の黒字、赤字はこれらの収支で判断し、平成30年度は約6億9,475万円の黒字となりました。

※長期前受金戻入とは、水道管などの固定資産の取得の際に交付された補助金、工事負担金など（長期前受金）を資産の減価償却に合わせて各年度に収益として計上するものです。

## 資本的収支（税込）



**資本的収支**とは、水道施設を整備、拡充していくために必要な経費とその財源です。

経費は、施設の建設や古い水道管の布設替工事などにかかる費用や借入金の返済です。

財源は、国からの長期借入金や工事負担金などの収入です。

※収入が支出に対して不足する額については、減価償却費などの内部留保資金で賄っています。

## 主な事業内容について

### ◆浄水施設建設改良事業

受変電設備の安全確保のための配電設備設置工事や、主要施設のセキュリティ強化の観点から監視カメラの設置工事及び水源を守り続ける対策工事として、水源の長寿命化対策工事等を行いました。

### ◆配水管整備事業

経年化による管路事故の被害を最小限にとどめることを目的とし、古くなった水道管の取替工事を行い、延長10,252mを施行しました。  
また、住民要望に対する未給水地区への配水管の布設工事を行い、延長1,975mを施行しました。